

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	地区公民館運営事業	担当課	教育課
細分化した事業名	地区公民館運営事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	韮崎市公民館条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	各地区の子どもから高齢者までを対象に、生涯学習の機会を提供し、地域のニーズに合った講座等を企画実施し、各地区の生涯学習の拠点として、また分館活動の支援・指導を行い、生涯学習のまちづくりに繋げていく。
事業の手段	各地区公民館が依頼した講師による各種講座・教室の実施 地区回覧、各戸配布等の公民館だより等による開催の周知 地区で活動する各種サークル、同好会、地区の会議等への部屋の貸出
事業の対象	各地区の市民（成人・高齢者・児童）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	36,131	43,279	27,183
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	13,201	17,401	2,100
	一般財源	22,930	25,878	25,083
B	担当職員数(職員E) (人)	0.43	0.43	0.43
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,932	2,875	2,791
D	総事業費(A+C) (千円)	39,063	46,154	29,974
主な事業費用の説明	館長・主事報酬 9,625千円、分館長・分館主事・運営審議委員・学級講師・除雪対策謝金 2,408千円、地区公民館運営費補助金 3,600千円、諸備品購入(一般コミュニティ助成事業) 2,157千円、各種工事 1,461千円 ※24年度はコミュニティセンター助成事業補助金(分館の建設費及び設備整備費 20,700千円)で事業費が増えた			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 平均利用日数	年間平均利用日数 (日) (地区公民館平均)	183.7	202	197.4
	2 利用者数	年間利用者延べ数 (人) (地区公民館合算)	35,174	36,725	36,990
	3				
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	地区公民館の年間利用日数の平均が、年間利用可能日数(365日)の過半数を超えている(54.1%)ので、妥当である。			
	2	地区公民館の合計利用人数(自主的な活動及び公民館企画の講座等)が1館当たり3,300人を超えているので、妥当である。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	1日当たりの開館コスト (千円) 事業費/年間平均利用日数 27,183千円/197.4日	196.7	214.3	137.7
	2	利用者1人当たりのコスト (円) 事業費/年間利用者延べ数 27,183千円/36,990人	1,027	1,178	735
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	1日当たりの開館コストが77千円近く下がっているため、成果は上がっている。			
	2	利用者1人当たりのコストが443円下がっているため、成果は上がっている。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 地区公民館によって年間利用日数や利用者数に差があるので、地域の人たちにより多く利用してもらうための方策を、中央公民館を中心に館長・主事研修及び勉強会を実施する。 各地区公民館の和室・小会議室にエアコンを整備し、利用環境を向上させる。
過去の改善経過	
課長所見	生涯学習・地域活動の拠点として、幅広い年齢、幅広い活動のできる施設として地域に寄与できるよう努めている。